令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	35

担当課	総務課	担当課長	久芳 浩二
事業担当者	城戸 貞人	一次評価者	亀井 玲子
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	男女共同参画事業推進		
予算科目	2 款 1 項 1 目		
予算事業名	一般管理費		
総合計画での位置づけ（施策名）	互いに認め合うまちをつくる		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	男女共同参画社会基本法		
事業の対象	全住民		
事業の目的	男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うべき男女共同参画社会を形成すること。		
実施期間 開始年度	平成 24 年度から		
実施期間 終了年度	令和 年度まで		
事業の内容	男女共同参画社会を形成するために、男女の人権の尊重、また、一人一人の能力や個性を社会に活かすことができるよう意識啓発、環境整備に取り組む。		

目的達成の指標（成果指標）

地方自治法第202条の3に基づく審議会委員の女性委員の割合

区分 年度	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5年度
目標	%	30	30	30	30
実績	%	26.9	25.4		

指標設定の考え方	「男女共同参画社会」を形成するためには、あらゆる社会の形成に必要な事項を決定する審議会への女性の参加が必要不可欠である。そのため、審議会委員への女性の参画率を指標とした。
計画時の懸案事項	啓発記事について伝わりやすいものにする必要がある。
計画時の懸案事項への対応	極力グラフや平易な言葉を用い、理解度向上に努める。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　39 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.04	0.05	0.05	0.05
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	306	358	394	394
事業費	直接事業費	0	0	1134	0
	人件費	306	358	394	394
	合計	306	358	1,528	394
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	306	358	1,528	394
	合計	306	358	1,528	394

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	0	0	1,134	0	0
実績	0	0			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
啓発記事の広報紙への掲載回数	回	3	3	3	3
		2	2		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　38 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.04	0.05	0.05	0.05
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	306	358	351	394
事業費	直接事業費	0	0	0	1134
	人件費	306	358	351	394
	合計	306	358	351	1,528
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	306	358	351	1,528
	合計	306	358	351	1,528

実施備忘録

成果指標の実績：内閣府による令和2年6月1日および令和3年6月3日付「地方公共団体に関する男女共同参画等に係る調査」結果参照
R4予算：委員長報酬100,000+委員費用弁償62,500+計画書印刷70,000+計画更新委託料902,000

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	城戸　貞人

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	A
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	3	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
☑ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

町の政策やイメージに与える影響が大きく必要性の高い事業であるが、活動指標のメインである広報啓発記事作成における題材選定が難しく、活動指標が伸びない要因となっている。有効性、効率性を高めるためにも、より広く情報収集を行った上で記事作成に取り組む必要がある。事業費がなく、情報公開も行っており公平性・透明性は確保されている。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

審議会委員の割合が伸びを見せておらず、各課、関係団体とも連携して長期的に女性の人材発掘に取り組んでいく必要がある。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価

評価者	亀井　玲子

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	A
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	3	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

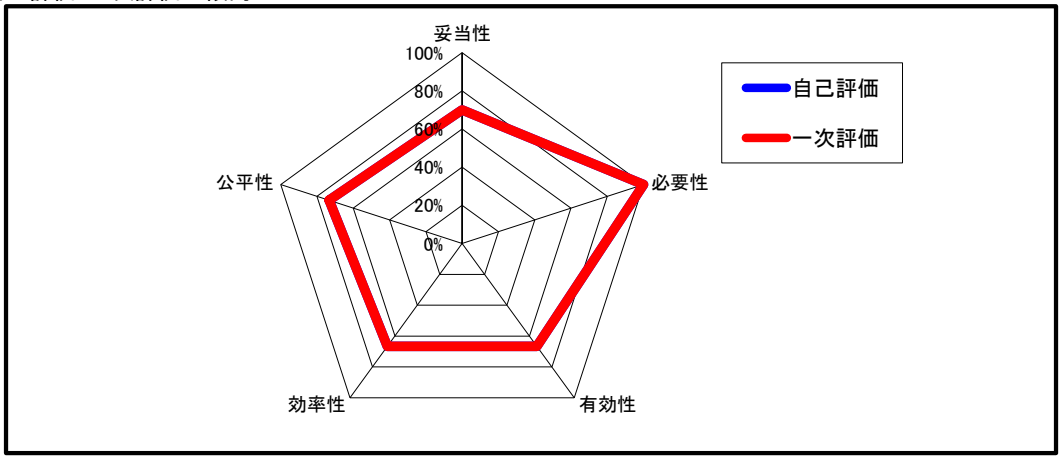
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
□ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
☑ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

住民に対する広報等は行っているが、審議会委員の割合は若干減少しており、さらなる工夫等が必要である。来年度は、男女共同参画基本計画の見直しの年度のため、事業内容も改めて見直しを行う。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	久芳　浩二

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

□ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

☑ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

令和4年度において基本計画の見直しを行い、時代の変革に沿った指標設定と行動計画を検討すること。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）